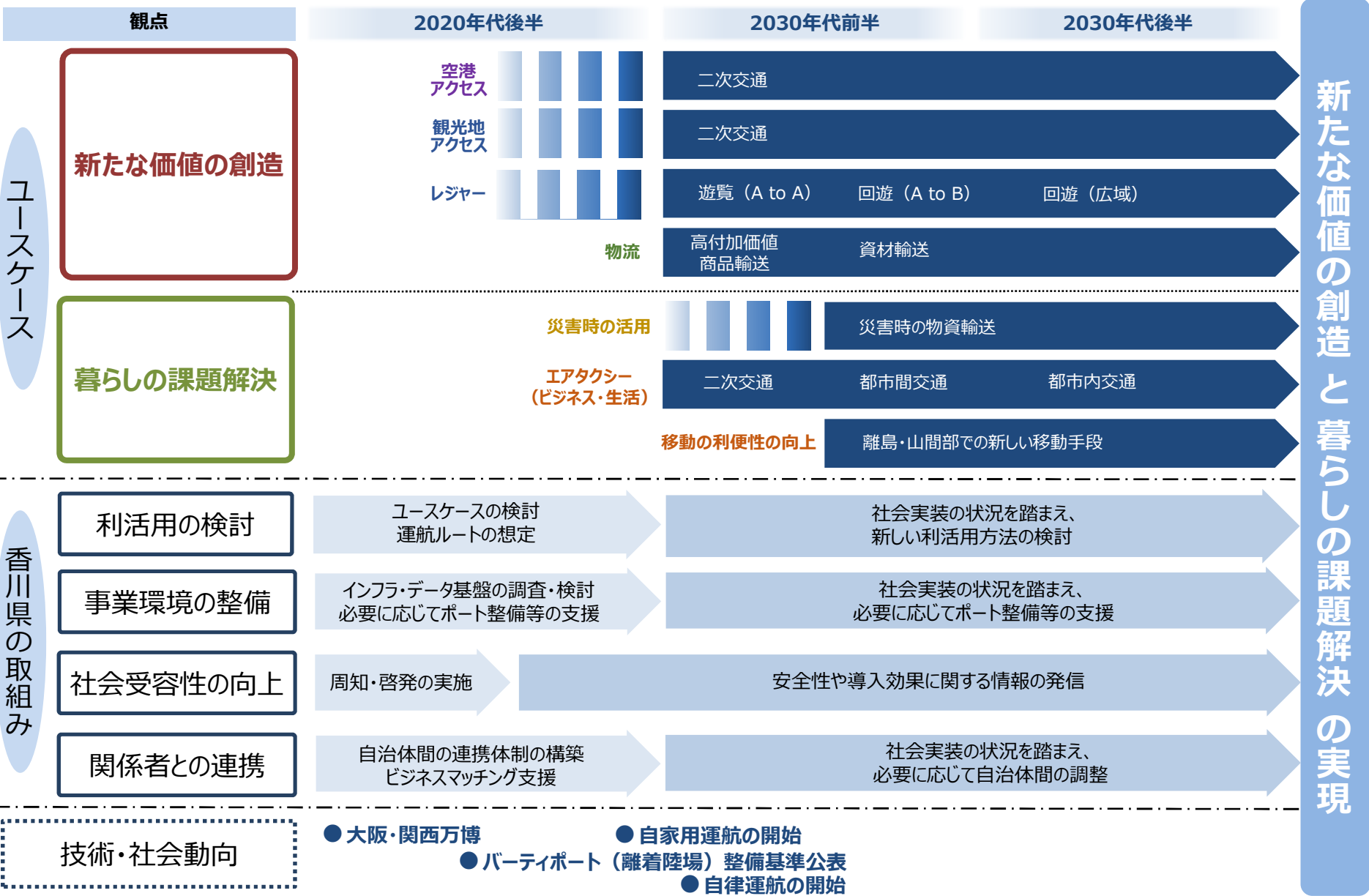


空飛ぶクルマ活用に向けた香川県版ロードマップ^o

かがわの空・新時代移動プロジェクト ～結ぶ、広がる、未来の軌跡～



新たな価値の創造と暮らしの課題解決の実現

パイロット搭乗による空飛ぶクルマの定期便の商用運航がはじまる

技術・社会動向の想定

バーティポート（離着陸場）が整備され、
旅客輸送が開始される

想定

高松空港やサンポートを起点とした
遊覧や観光地アクセスのルート

2020年代後半の想定ルート



- ➡ 観光客を主軸とした
高付加価値輸送が実現する
- ➡ 県内の一部の範囲で
観光客の快適な回遊や移動
が実現する

2030年代前半 空飛ぶクルマ活用の将来イメージ

空飛ぶクルマが身近な交通手段として活用されはじめ、利用が拡大する

技術・社会動向の想定

自律運航や自家用運航が開始される

自律運航…操縦者の搭乗を要しない、遠隔操作による運航

自家用運航…商用運航ではなく、自らの用途のための運航

2030年代以降の想定ルート



想定

サンポトを起点とした県内各エリアへの都市間輸送が開始される

➡ ビジネスや日常生活での利用が拡大する

観光地においてパーティポートが整備され、観光地どうしの回遊ルートが確立される

➡ 県内の広い範囲で観光客の快適な回遊や移動が実現する

2030年代後半 空飛ぶクルマ活用の将来イメージ

新しい交通手段として定着し、広域ネットワークが形成される

技術・社会動向の想定

自律運航が一般化する
機体性能が向上し、より広域の移動が可能となる



出典：経済産業省ウェブサイト

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/181220uamroadmap.html

想定

バーティポートが
県内地域の各拠点に整備される

➡ デマンド型の運航が広がり、
空の移動やバーティポートの活用が
日常生活の一部となる

デマンド型の運航…
予約する利用者の意向に合わせた時刻や経路の運航

想定

運航ネットワークが県内外に広がり、
瀬戸内海エリア一帯の回遊ルート
が確立される

➡ 瀬戸内エリア一帯のエリア価値が
向上し、新しいビジネスが実現する